

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 末嵩 雅美 |

1. 基本情報

| 科目名  | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 教育原理 | 2    | 前期         | 必修      | いいえ      | 74        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ○          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>卒業必修科目のため、学科の全学生が履修する。一年次の学習や実習経験が基礎として活かせるよう、内容も十分に関連付けながら、より理解を深められるよう授業計画を立てた。前年度に「板書の量が多い」との意見もあったため、今年度はプリント資料を増やすなどの配慮も行った。試験実施に関しても、授業開始時に十分な説明を行ったので、学生も備えが出来ていたと思う。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

|  |   |            |            |            |          |            |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|  | やや達成された   | 達成された      |            | やや達成された    |          |            |
| (2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。  | <p>最終の成績評価の平均値は77.4と高い結果となった(昨年度70.5)。秀が12名(16%)、優が19名(25.7%)、良が23名(31%)、可が17名(23%)、不可が3名(4%)。試験問題は知識理解を問うものと意欲関心を問うもので構成した。知識理解に関しては多くの学生が十分に理解できていた。昨年度の内容から若干変更しているが、平均は上がっており、学生たちが十分に備えて試験に臨んだと考えられる。ただし、意欲関心を問う問題では、文章記述の解答率が低く、学問としての教育学への意欲関心が高められたとは言えない結果となった。</p> <p>授業内容も、1年次の「保育原理」の内容から比べると、発展的でより高度な内容の理解が求められる科目であるため、学習理解が難しかった部分もあると思われる。そのためか学生による「到達度自己評価」が、3.6～3.8となり、学びに向き合えるよう、また学生が学修成果をより実感できるよう授業への工夫が必要かと思われる。</p> <p>加えて、予習復習の時間の少なさや課題外学習に取り組んだ学生が少なく、今後の課題であると思われる。</p> |            |            |            |          |            |
| <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> |   |            |            |            |          |            |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>DP、CPともに内容的に妥当であると言える。カリキュラムマップにおける位置づけについても、妥当である。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>「授業の質評価」については、発展的な内容ではあったが「理解しやすいものだった」が4.0と理解を促すことはできている。ただし前述したとおり、学生の自己評価における理解とのギャップがあり、意欲的な学習ができるよう工夫する必要がある。</p> <p>また「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が3.8と若干低かった。質問や対話を多くするよう心がけていたが、学生にとっては十分でなかったと考えられる。</p> <p>授業に関する自由記述では、改善を要する意見は見られなかった。ごく一部の学生の「とても面白かった」という意見が複数あり、学修成果を感じられる学生にとってはやりがいのある科目であったと察することができる。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>昨年度に比べて、評価は向上した。授業内容についても、難しい内容ながらもできるだけ「分かりやすく」を心がけて伝えるようにしているが、まだまだ改善する必要があると思われる。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 笠 修彰 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 社会的養護 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 76        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ○          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業では、社会的養護に関する制度・施策、子どもの人権擁護や自立支援、社会的養護の現状と課題など社会的養護の担い手である保育士に求められる知識の獲得を目指している。また、社会的養護の実践をより具体的にイメージできるよう、適宜事例等を用いて可能な限り実践に即した学びを得ることができるよう心掛けた。また、授業の進行状況に応じて適宜小テストを行い、予習、復習に対する意欲の向上、学習状況の把握に努めた。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|   | やや達成された  | やや達成された    |            | やや達成された    |          |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な評価としてS-29名、A-14名、B-18名、C-14名、であり、S、A評価を取得したものは名で全体の約76%であることから、目標はやや達成されたと考える。再試験対象者は4名であった。</p> <p>学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目において受講した全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPについては、学生による授業評価の知識理解の観点、意欲関心の観点での自己評価の項目で全ての受講生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから、内容的妥当性は確保できたと思われる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>今年度も学修準備性を高めることを目的として单元ごとの小テストを実施したが、アンケート結果をみると確実に目的が達成できたとはいえない。しかし、学生のおよそ半数が全授業回数中4、5回以上の予習復習に取り組んでおり(予習:約54%、復習:約46%)、小テストの実施が授業準備性を高める一助となっていると考える。また、学生からの意見でも小テストに対する意欲がうかがえる。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。<br/>本科目は保育士に求められる専門的知識を獲得するだけでなく、職業理解にもつながる重要な科目であるため、今後も引き続き授業の質的向上に向けた取り組みを行っていききたい。また、小テストや配布資料等の内容的検討を継続的に行い、学生の学修準備性の向上、授業内容への理解の深化を図っていききたい。</p> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 河嶋 静代 |

1. 基本情報

| 科目名  | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 相談援助 | 2    | 前期         | 選択      | はい       | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ○          | ○          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>家庭支援や保護者の相談援助に必要なケースワーク、グループワーク等の知識・技術を修得するための基礎となる人間関係形成能力、コミュニケーション能力、自己覚知等、多様な体験学習を実施した。シラバスの変更を途中で説明したがきちんと認識していない学生がいたので、もっと周知に努めるべきであった。初めての授業であり次回からはシラバスの変更はないようにしたい。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | やや達成された  |            | やや達成された    | やや達成された    | やや達成された  |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>保護者支援のためのケースワークやグループワーク等の知識・技術を体験的に学ぶという科目の目的・ねらいを理解できない学生がいるようだったので、理解できるように伝え方を工夫する必要がある。到達度の自己評価の平均点は、3.3～3.2である。到達度の自己評価は、まあまあ達成できたという学生が多い。約30%の学生が、いずれの項目においても、「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えている。「まったくそうでないと思う」「少しそうでないと思う」は、21%～16%なのでその割合を少なくしていく必要があると思う。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|   |   |
|---|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>受講動機は、必須科目であるが87%、資格取得に必要なものであるが40.3%、関心のある内容であるが、3.2%となっている。到達度自己評価の「自分なりに目標を到達した」では、88%の学生が、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えている。授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会を作った、では、84%の人が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えている。学習量の評価では、授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどれぐらいおこなったか、また、1分間以上程度の復習をどれぐらい行ったかでは、前者は20%、後者が17%が2・3回、4・5回、6回と答えている。0回は、準備、復習とも72%である。</p> |
|---|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業の質の評価では、「テスト、レポート、提出物の評価基準は明らかであった」では、36%の人が「まったくそうでないと思う」「少しそうでないと思う」と答えている。学生からの意見でも説明不足について訴える意見がある。シラバスの変更については、変更について授業の中でしっかり説明をしたし、評価の基準も、変更後のシラバスどおりだったが、一部の学生は理解ができていないようだった。授業の説明は70%の人が「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」と答えている。情報利用に関して、シラバスの活用については84%の人が参考にしていない。図書館の利用に関しては利用していない人は95%である。</p> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>到達度自己評価の「自分なりに目標を到達した」では、88%の学生が、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えているが、教員の評価では、保育士や幼稚園教諭として相談援助が行える基礎的な知識や技術をどれだけ習得したかという観点から見れば、到達度はかなりのバラツキがあるように思われる。授業では自己覚知やコミュニケーション技術、個別や集団の場における相談・支援の技術を身に付けるための体験学習を行った。学生の意見では、面白い授業だと評価する学生がいる一方、授業のねらいや意図が分からない学生も一部にいた。オリエンテーションのときに、授業科目のねらいや目的についてしっかり説明したが、相談援助という授業科目が何のためにあるのか、理解できないと、授業への動機付けや関心が低下するので、しっかりと理解できるように説明する必要がある。座学ではない体験学習では主体的な参加が求められるので、オリエンテーションの時だけでなく、授業ごとに、ねらい、目的を説明しているが、授業に消極的な学生に、どうしたら関心を向けさせ主体的な参加が促せられるかが課題である。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 藤田 稔子 |

1. 基本情報

| 科目名     | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|---------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどもの保健Ⅱ | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 74        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ○          | ×          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、1年生後期からの継続している科目です。今年度受講しました学生さんから前回科目の授業評価アンケートや教務課への投書等により、様々な意見を頂戴いたしました。そのため、実りある15回の講義内容に改善するために、初回授業時にアンケートを実施しました。「講義内容が多すぎるため、教科書に書かれているだけの内容でよい」、「別途ノートを作ることは面倒であるため、授業スライドを全てプリントして配布して欲しい」、「授業は、配布資料に( )を設けて、それを埋めるような授業にしてほしい」、「他の科目が勉強できないので試験を持ち込み可にしてほしい」等の意見がありましたが、どれも単一の意見であり、9割強の学生が現状維持を求めました。そのため、アンケート結果を踏まえ、今年度は、「ノート作りは課さない。しかし、授業への取り組み度の参考としてノートを作っている人は、自己学習を積極的にしていると評価の参考にすることにする」、「プリントは、従来の様に、ノート作りに利用可能なもの、全てのスライドのプリント、の2種類を準備する」、「ただし、定期試験は持ち込み不可とする」ことになりました。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  |  | 達成された      | 達成された      | 達成された      |          |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>今年度の最終成績評価は、秀11名(15%)、優30名(41%)、良15名(20%)、可18名(24%)でした。可の内、10名が再試験を受験してクリアし、再試験受験生の中では、定期試験に来ることができず再試験になった学生もいました。また、授業評価アンケートの「到達度自己評価」の平均値は4.1～4.2とどの項目も高値であり、学生さん自身の到達自己評価は比較的高く、達成したといってよいのではないかと分析します。最終成績についても、可は多かったものの、再試験の正当内容を見ると、よく勉強してくれていると思います。また、ノート作りは自由でよいと初回授業時に取り決めをしましたが、大半の学生さんが自分たちのノートを作成しており、自己学習を深めている内容でした。授業評価アンケートでは学習量の評価、情報利用、図書館利用が感覚的に低い値の様に感じます。実際のノートを見る限りでは、オリジナリティーあるノートがそれぞれに作成されており、その内容は、授業後に図書館の課題図書のコピーやインターネットでの検索等の資料が見られているため、アンケート結果以上の学修をしていると評価しています。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>授業アンケートの「到達度自己評価」の結果を見ると、一番高値である項目は「知識を理解、修正したり、新たに得ることが出来た」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることが出来た」の2項目が4.2でした。本科目は、DPの位置づけを反映したものであると考えています。従って、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた時、内容的に妥当性があると評価できていると思っています。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業アンケートの「情報利用」の結果を見ると、シラバスの活用、計画の立案、共に参考にした、しなかったの回答が半々でした。予習復習の設問のうち、予習をした回数を見る限り、かなりの学生さんが予習をして授業に臨んでくれていた回答であるため、シラバスが効果的に使用されていないことが推察できます。今後は、シラバスの記述をより分かりやすく工夫をして学生さんが活用しやすい、予習がしやすいものに改良できたら、と思っています。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>今年度は、初回授業時に、アンケートをとったり、授業の在り方について話し合ったり、学生さんとの話し合いをまずおこないました。その効果か、今期の授業への取り組みは非常に良好でした。ただ、今年度は、再試験になった学生さんが比較的多く、反対に成績優秀者はすこぶる優秀でした。そのため、理解度に乖離が起り、どこに焦点を合わせるべきか、悩みました。理解に時間がかかる学生さんへは、今後も個別に質問に応じる時間を設け、食欲に学びを求める学生さんへは、自己学習のガイドを常にしていければよいな、と思っています。</p> |
|------------------------------|--|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 手嶋 英津子 |

1. 基本情報

| 科目名      | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどもの食と栄養 | 2    | 前期(後期)     | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ○         | ×         | ×         | ○       | ×         |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、保育士を目指す学生に乳幼児期の発達段階に応じた栄養と食生活の重要性について理解を深めることを目的としている。受講動機は、必須科目である、資格取得に必要であると回答している学生が大半である。昨年度より調理実習を増やしたり、保育現場との連携を図ることで、より実践を通して食の重要性の理解を深められたと考えられる。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|---|---|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|   | やや達成された   | やや達成された   |           |           | やや達成された |           |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した(平均4.2点)、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均4.4点)と、達成度自己評価のほぼすべての項目において、平均4.2点以上であった。</p> <p>また、授業内に実施した、発表等においても基準を達しており、この評価とした。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>学習到達度の自己評価は、全てにおいて平均がほぼ4.2点以上であったため、内容的妥当性はあったと推察される。調理実習を取り入れ、体験を通して食の重要性が伝わるように工夫した。「とても楽しかった」との自由記述が6件あり、食の重要性と楽しさを伝えられる内容となり、特に問題ないと思われる。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>保育士を目指す学生に、食の重要性をわかりやすく伝えられるように工夫した。座学だけでなく、グループワークや発表を取り入れ、体験を通して自然に食について学べるよう組み立てた。また、調理実習では、離乳食から幼児食までそれぞれテーマを決め、段階的に学べるよう工夫した。お弁当のメニュー作りからお弁当作りを実施し、栄養バランスや量について実践的なスキルを身につけることを目的とし実施した。学生の自由記述では、「調理実習でしたものを自宅でも作ってみました」「家で料理をした」等、実践した者もいた。また、初めてお弁当を作ったり、初めて体験した調理作業もあったという感想を授業内で聞くことができ、調理実習を通して、食に興味関心を持つことにつながることができたと考えられる。</p> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>昨年度より担当し、保育士を目指す学生に食の重要性を理解し、食に興味関心を持ってもらえるかに重点をおき授業を組み立てている。今年度は、学生が作った作品を保育園で掲示してもらうなど、新たな取り組みもできた。このように、保育現場と連携し、実際に保育士として子どもたちの食育を実践できる力が身につくような授業計画を立てることが重要だと考える。</p> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 河嶋 静代 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 家庭支援論 | 2    | 前期         | 選択      | はい       | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ×          | ○          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>児童福祉機関・施設の機能や役割について学ぶだけではなく、視聴覚機材を用いることで、その活動の実際が理解できるように努めた。毎回ワークシートを配布し、テキスト学習の後、キーワードを記入させ、重要箇所を確認できるようにした。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|   | 達成された   |            |            | 達成された      | 達成された    |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>学生の到達度自己評価では「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそう思う」、「割にそうだと思う」、「まあまあそうだと思う」を合わせると全体の94%であった。学習量の評価では、「授業に参加するために、1回30分程度以上の準備をどれぐらい行ったか」では、0回が約72%であり、「授業を振り返るために、1回30分程度の復習をどれぐらい行ったか」では、0回が同じく約72%であった。また、シラバスの活用については、参考にしなかった84%であった。また、図書館の利用では、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用しなかった」では、利用しなかったは94%であった。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>学生の評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で学びを深めたいという意欲をもつことができた」「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」でも、「かなりそう思う」、「割にそうだと思う」、「まあまあそうだと思う」を合わせると全体の94%であった。宿題については、事前学習をしていくようにと、ワークシートを配布したが回収をしなかったりするなど、強いることをしなかったため、周知が図れなかったため、もっと積極的指示をする必要がある。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>約90%の学生がシラバスの記載を参考にしておらず、この授業のために、図書館等やインターネットの活用をしていない。シラバスの変更については、事前に説明したが、授業中に集中力に欠ける学生が多く、言ったことを聞いていないと受け取っている学生もあり、学生の理解度や認識度に応じ、周知徹底の在り方を工夫する必要がある。自分に自信がなく、授業への参加にも消極的な学生がいるので、そうした学生にも積極的に働きかけていくことで、変化を期待したい。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>達成状況の総括では、総合的に、知識の習得、保育所や幼稚園で家庭支援を行うための技能的表現ができるまでに到達できたかでは、基礎的なところは踏まえたので、将来的な学習や技能の訓練など経験を積み重ねる必要があると思う。今後の課題として、オリエンテーション時に説明をしたが、授業科目の目的を理解できていない学生がいるので、学生の理解度に応じてわかりやすく説明をする必要がある。学生の理解度や授業への関心の程度に大きな幅がある。意欲を持ってない学生がどう関心をむけられるか、動機づけをどう図るかが検討課題である。個々の学生への声かけにいつそう努めたい。</p> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 谷口 幹也 |

1. 基本情報

| 科目名               | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育内容「表現(造形・絵画表現)」 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ○         | ×         | ×         | ○       | ×         |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本授業では、学生の主体的な学びを重視し実施した。本授業が必修科目であることから、保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育内容における造形・絵画表現の領域において、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を解説した上で、「主体的な学び」、「遊びは重要な学習である」ことを、グループ活動による表現を通して学ぶことができるよう配慮した。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|---|---|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|   |   | やや達成された   | やや達成された   |           |         | やや達成された   |
| <p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>受講者のDPを確認し、全体をとおして「やや達成された」とした。知識理解(DP1)に関しても受講者の自己評価から「やや達成された」とした。技能表現(DP5)に関しても、受講者の自己評価から「やや達成された」とした。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての 内容的妥当性<br/>DC, CP, カリキュラムから本科目の内容的妥当性は、「ほぼ達成されている」と判断する。その理由は、受講者の到達度自己評価が全項目の平均値が中央値に位置しているからである。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>アンケート結果から、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。</p> <p>オリエンテーションの内容の工夫、また各授業の際の学修目標の提示等を行い授業改善を行う。</p> <p>保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育内容における造形・絵画表現の領域において、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容であることの理解を促し、「主体的な学び」、「環境を通した教育」を実現する教材、指導法の学修をグループ活動を通して行っていきたい。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>アンケート結果から、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。そこで、本授業が保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、幼児教育、保育における造形、絵画表現の領域の重要性と必要となる力量を明示するように改善する。そして学修目標の提示等を工夫し授業改善に努める。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 末成 妙子 |

1. 基本情報

|                   |      |            |         |          |           |
|-------------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 科目名               | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
| 保育内容「表現(身体・音楽表現)」 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

|      |           |           |           |         |           |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|      | ○         | ×         | ×         | ○       | ×         |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>①86.4%の学生の受講動機が「必修科目である」ため、「関心のある科目である」2%と関心のある学生が極端に少なかった。保育の場での音楽表現は「こどもの音楽表現において、保育者ほどのように援助していくか」を求められていて、従来の受け身の受講に終わるのではなく、学生自らが主体的に取り組み学ぶ、「参加型」の授業形態をとったが、学生の音楽面での学習準備が整っておらず、次年度への反省となった。後期の保育総合表現と密接に関係していることや、グループでの発表をすでに経験しているので身体表現の面では期待できることもあったが、音楽を使ってその表現を広げる活動に自信が持てず、保育科入学までの学生の音楽体験が予想以上に少ないことに気づき、次年度は課題の前に自習とディスカッションに十分な時間を設ける必要を感じた。</p> <p>②音楽に関する知識・技能を学びながら教師自身も楽しむことのできる音楽表現遊びを実体験することを主眼にして「身近な楽器を活用した合奏と身体表現との融合」など幅広い活動を多くの楽曲を用いて行ったがDP到達度自己評価が3.3~3.4と低い数値だったので、次年度の反省につなげたい。到達度自己評価の中で「全くそうでないと思う」という評価が2名いたことは、この授業で学びの実感を得られなかった学生の数だと重く受け止めて、現場に役立つ大切な技能を身に着けられるように、後期の総合表現で、何とか充実感を持てるように進めていきたい。</p> <p>③グループ発表は、お互いの良い点を認め合う協力的な空気が感じられた一方で、今後は「さらにより発表にしていこう」という意欲の向上が途絶えぬように指導していきたい。最終講義の日には現役高校生の授業参観もありさらに後輩への発表の場という特別な高揚感があった。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

|  |  |           |           |           |         |           |
|--|--|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| (1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|  | やや達成された  | 達成された     |           |           | やや達成された |           |
| (2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。<br><br>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。<br><br><授業評価の指標><br>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など | <p>①身体・音楽表現を体験し、授業評価では「学生が発表する機会がつけられていた」に「まあまあそうだと思う」を含めて92%が「そう思う」に回答しているが、残り8パーセントの学生がグループ発表、個人発表で自分で満足のいく十分な表現に至らなかったことが推察できる。話し合い活動で自分の意見を十分に言わず、最終的には協力し合って発表を経験しても、物足りなさを感じたとしても、それを経験のひとつとして後期の総合表現に結び付けてほしいと考えている。</p> <p>②「学生の質問に答える」では授業の内容を極力プリントでも説明を加え、質問に答えようとしたが、8%の学生がそういう機会が不十分だったと評価している点は今後の反省である。音楽的知識の積み重ねに問題がなかったか、という課題も含めて、質問の時間をもう少しとって、学生が自由に考え、消化していく道を作らなくてははいけないと考える。</p> <p>③図書、インターネットの利用が8%と低いのは啓発の不足であり今後の課題である。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①DP学生の行動目標からみた内容の妥当性<br/>学生の行動目標のひとつである「即興演奏の基礎を学ぶ」ことに十分な時間が取れず、教師による実演に終わってしまったが、この課題の設定が実態に即していないという印象を持った。6度音程の右手の和音進行と、左手の主音・属音のオクターブ伴奏というくらい、具体的な奏法を提示する方法がふさわしいと感じた。到達度自己評価の「専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」は「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」「まあまあそう思う」を加えると96%になるので、今後学習が深まり、保育者の基礎を身につけることができたと考えられ、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>②自由記述から「音楽の重要性を実感した」「楽しかった」「印象的なリズムがあって楽しかった」など好意的な記述がある反面、もう一歩進んで「子どもの表現遊びを引き出す保育者になる」ための深い学びを今後進めていきたいと考えた。しかし全体としては「説明も理解されやすい」は「わりに」まあまあ「かなり」の合計が91%、「課題も明らかであった」95%となっているので、内容的には妥当であったと考える。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめ、話し合う、発表し合うなどなど、学生が参加する機会がつけられていた」の平均が3.4であり、教師の側ではそうした場面を大変多く設定したつもりであったが、学生の側との認識の違いがあり反省している。活動をする機会を活かして、表現を援助する手法を学修してほしいと考え、おおむね満足のいく成果だったと考えたが、緊張感の強い学生が、最後までなかなか皆の前で表現することができず、他の人の発表などを参考にしながら自分の表現を充実させていけるように支援したが、十分とは言えなかったので今後の反省にしたい。授業を通して自分の適性に向かい合い、得意分野を見つけ、個人で、あるいは集団で音楽を使って表現する楽しさを味わってほしいと考えたが、レポートなどから推察するに、まだ徹底には遠かった感もある。また音楽的学習の積み重ねという面からは、音楽の西南と言われていた少し前とは学生の質が異なっていて、必ずしもそうした学生ばかりではないので、「表現」を幅広くとらえ、打楽器などを使用して、保育科のカリキュラム全体の中で、ピアノ演奏への苦手意識を払しょくしていかなければいけないと感じた。</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>具体的な表現教材や楽曲を用いて身体・音楽表現を体験し、保育現場で「いかに子どもたちの表現したいという気持ちを引き出すか」という本科目の目標は概ね達成できたが、すべての発表に学生同士が話し合い、検討をし発展させる時間がとれたとは言えなかった。一つひとつの課題を丁寧に検証していくには課題を減らすことも検討する必要がある。インターネットの検索による情報収集は、価値ある情報とそうでないものを見極める力をつけ、利用することが大切なので、責任のない個人が安易にアップした演奏や演技を模倣してしまわないためにも図書館の利用をさらに推奨したい。</p> |
|------------------------------|---|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 河瀬 洋美 |

1. 基本情報

| 科目名        | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育実践の理解と方法 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ×         | ○         | ×         | ×       | ○         |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。<br/>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。<br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>① 0歳児から6歳児までの発達や配慮を要する子ども、保護者や職員同士の関り、研修の持ち方など専門職として必要と考える項目を順序だてて授業計画をした。<br/>② 毎回、わかりやすい資料を作り提供し、板書しながら進めた。<br/>③ テキストを使わずに進めているが、自分なりに成果はあったと思う。<br/>④ 保育現場での経験を具体的に提示し、社会に出た時に少しでも役に立つように心がけた。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|---|---|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|   |   | やや達成された   |           | どちらともいえない |         |           |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。<br/><br/>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。<br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>① 試験をせずにレポートや授業態度、授業貢献度等で成績の評価をした。授業中に私語をしたり、落ち着かない学生もいたが、文章を書かせると趣旨をとらえ文章もまとまりのあるものを書いてきた。理解度は高いと思われる。<br/>② レポートは遅れても必ず提出するように指示していたが、遅れつつも全員が提出することができた。<br/>③ 専門分野として系統だった計画を心がけたが、自分自身がもう少し前向きに授業を向かうと、もっと魅力のある授業になったのではないかと反省している。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。<br/><br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>到達度評価は、過半数がまあまあそうだと思うであり、わりにそうだと思う、かなりそうだと思うも昨年と比較すると増加しているが、まだまだ消極的な評価が多い。自己評価は「3」である。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>全体的な評価は、3.5～3.7にあり、もう少しわかりやすく具体的な提示をしながら、前向きになれる授業をしたい。<br/>学生の意見はほとんどなかったが、レポートに共感してもらってうれしかったという記述があり励みになった。</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>達成度は「可」の下。<br/>わかりやすい授業。乳児から就学までの成長を見据えた授業計画にしたい。<br/>事例検討をもう少し多く取り入れ、役立つ授業を目指す。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 命婦 恭子 |

1. 基本情報

| 科目名     | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|---------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 障がい児保育Ⅱ | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ×         | ○         | ×         | ○       | ×         |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>保育現場で必要性の高い、発達障害についての知識を深め、保育実践のスキルを高めることを授業の課題としている。学生のほとんどは、免許・資格のために必要な科目であることから受講している。そのため、一般の保育所や幼稚園に就職するさいにも発達障害についての知識と技術が必要であることを説明し、受講意欲を高めることを意識して実施している。また、障害児について身につける知識と技術は多く、保育現場に出てからも研修などで新しい知識を身につける必要がある。そのための土台作りの科目であると考えている。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|--|---|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|  | やや達成された   |           | やや達成された   |           | やや達成された |           |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>成績は、教材作成や指導案の作成と実施、課題、レポートなどで評価した。DPに即して、知識を身につけることと、実践することの両方を評価するためである。その結果、学生の成績の平均は72点でありやや達成されていると評価した。教材作成や模擬保育活動には多くの学生が積極的に取り組んでおり、技能表現の項目については「やや達成された」と評価した。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、保育の内容・方法に関する科目であり、障害児保育Ⅰにおいて、様々な障害を持つ子どもたちへの保育についての知識を学んだ後に、発達障害児にターゲットを絞って、より現場に即して実践的に学ぶ位置づけである。アンケートでは位置づけに見合った目標を達成ができていたことが学生の実感からうかがえる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>2年生の施設実習直前の授業であることを意識して、障がいのある子どもたちへの支援を主体的に計画できる知識の伝達と、実践的な取り組みを含んだ内容となっている。提出物に評価をつけてフィードバックするなど、コミットの低い学生に対しての働きかけを考慮した。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>教育目標は概ね達成できていると考えている。カリキュラム改正に伴い、来年度からは科目名と科目内容が変更される。模擬保育なども取り入れ、より実践的な内容へと変更する予定である。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 池田 佐輪子 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 乳児保育Ⅱ | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 75        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ○          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>・本科目は保育士資格取得について必修の授業で、保育所に就職希望の学生を中心に、また、認定こども園の増加に伴い、幼稚園に就職希望の学生も、認定こども園になった場合の「保育教諭」の資格取得に向け、主体的に受講する学生が多かった。</p> <p>・1年時の乳児保育Ⅰを受講し、また保育実習Ⅰでの実践を受けての内容であるため、実習での疑問点や課題等についても検討していきながら、より内容が深まるように、また実習や保育現場での実践面で役立つように、実際に人形や玩具等を用いた演習を取り入れて授業を行った。</p> <p>・個人差を踏まえながら月齢ごとの発達の姿について解説したうえで、その発達を支える関わり、また保育現場での実践について保育のポイントを押さえながら講義・演習を行った。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|   |   | やや達成された    |            | やや達成された    |          | やや達成された    |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>・トータルでの評価は86.3点(±7.1)で、再試対象者は0名であった。総合評価としては多くの学生がA評価以上の理想レベルに到達できており、乳児保育における思考判断は概ね達成されたと考える。</p> <p>・子どもや保護者への適切な遊びや養護技術などを実施する技能表現においては、演習室で実際に人形や玩具等を使って演習を行ったことで概ね習得できたのではないと思われる。</p> <p>・グループワークでは積極的に意見を言う学生とそうでない学生とがあり、こちらから指名して質問をすると意見を述べることはできたが、学生による主体的なディスカッションには至らなかった。</p> <p>・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせていたが、授業アンケートによればテキストを使って予習・復習することが十分できていたとはいえなかった。定期試験前には配布資料を中心に、授業内容の確認学習はできていたと考えられる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格の取得に向けて授業に臨む姿が見られた。</p> <p>・現場での事例(加工しながら)を用いて解説したことより具体的な理解ができたのではないと思われる。</p> <p>・また実際に人形等を使った演習を多く取り入れることで、乳児との関わり方が理解しやすかったようだ。</p> <p>・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・テキストを用いた解説に加え、具体的な乳児のイメージが持てるように画像が載ったテキストやパワーポイントを活用するとともに、現場でのエピソードを盛り込んだ説明を心掛けた。教員から指名をすると質問に答えられるのだが、指名をしないと双方向のやり取りにはなりつなかった。学生からの質問や意見が出しやすい授業を工夫する必要がある。</li><li>・予習・復習を行う学生が少ないので、授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるようにしながら、主体的な学びを引き出していく。</li><li>・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。</li></ul> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・学生の達成度自己評価とトータル成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。しかし学生の主体的な学びという意味ではまだ不十分と思われる。実習や現場での乳幼児との関わりを実感できるような演習を工夫し、学生とのやり取りを重視しながら主体的な学びを促していきたい。</li></ul> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 末成 妙子 |

1. 基本情報

| 科目名       | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こども音楽療育演習 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 24        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>①前年度後期の「こども音楽療育概論」の流れからの科目であるため、受講学生の目的意識がはっきりしていることで学習準備は整っていた。後期の「こども音楽療育実習」とあわせて資格認定となるため、実習を視野に入れて具体的な楽曲に数多く触れて、その曲を用いる意義、こどもへのはたらきかけの工夫を学べるように授業を実施した。</p> <p>②こどもたちとの出会いの導入から、見通しを持った計画を立て、セッションを進めるように授業を計画した。楽曲を用いる際の楽器操作などの具体的な音楽テクニックの体得、こどもの変容と、セッションの振り返りを行うことで、学生各々が学ぶべき課題を明確にすることができた。</p> <p>③『ユニバーサルデザインの音楽表現』という考え方に基づいた楽曲集から、学生各々が自らの課題に適した楽曲を選択し、セッションとして発表することで問題点を共有しながら学びの場を充実させた。</p> <p>④学生の自由記述の中で、「教師の指摘が厳しすぎてやる気を失った」という内容のものがあり大いに反省した。決してそのようなつもりはなかったが、自信がない状態で発表し、緊張した中でさらにうまく進められなかった点を指摘されて途方に暮れたのであろう。後日、個人的によく話し、今後の学びに支障がないように十分な指導をした。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

|  |  |            |            |            |          |            |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
| (1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|  | やや達成された  | やや達成された    |            |            | やや達成された  |            |
| (2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。<br><br>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。<br><br><授業評価の指標><br>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など | <p>①学習到達度自己評価は平均値3,9で「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」がゼロだったので概ね達成できたと思う。</p> <p>②「知識の確認・修正・新たに得る」の項目では4,9という数値で、概ね目標を達成できたと思う。「専門分野の課題を検討する力」「学びを深めたいという意欲を持つ」という項目は「全くそうではない」「少しそうではない」が0人だったので、学修に深い関心を持ち、丁寧に考察しながら、実際のセッションに臨むことが、できていたと考えた。</p> <p>③A4サイズの専用のノートを作り、学びの積み重ねをするように指導したが、そうした学生が半数にとどまっていたので次年度の課題である。後期の「こども音楽療育実習」につながるので継続したノートの必要性を授業の半ばでも申し伝える必要を感じた。</p> <p>④手軽なスマホの利用が多く、書籍の利用が1割にも満たなかったので啓発を続けたい。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|   |  |
|---|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①自由記述の中で「他の授業と同じ楽曲があった」ということがあがっていたが、楽曲は様々な角度からアナライズし、同じ曲でも対象幼児、発達段階など、いろいろな条件の中で取り上げる方法は千差万別なので、そのあたりが説明が不十分だったので、丁寧な指導法をより綿密に説明する必要を感じた。知っている曲が出てくると、単純に「その曲は前に勉強した」とおざなりに受け止める傾向を正し、同じ曲も扱い方によって「これほどまでにいろいろな側面を楽しめるのだ」ということを実感できるように進めなければいけない。授業以外でも質問できるオフィサーの周知など、今後徹底していこうと反省した。</p> <p>②音楽療育の分野は、卒業後も多くの学びを自身で獲得して行ってほしいので、到達度自己評価の「学びを深めたいと意欲を持つことができた」学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせて50%にとどまったので、この数字を反省点に今後の学生への啓発にさらに力を注ぎたいと考えている。</p> |
|---|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>①学習量の評価では30分程度の準備の時間を取った学生が87%で、これは自分の発表の日以外は予習をあまりしなかったということになる。この部分の補強を考える必要性を感じた。楽曲の練習という技術的な課題は日々の積み重ねなので知識の定着を目指すためにも、啓発していかなければいけないと考えた。</p> <p>②ノードフ＝ロビンズの共同の仕事から生まれてきた楽曲は、障がいのある子どもへはたつきかけに大変優れているが、本時間内に十分に伝えられなかった。情報利用の中で、具体的なこうした曲の紹介も積極的に行い、図書館を利用して様々な楽曲にふれ合うことを推奨していきたい。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>「療育的音楽活動」の具体的方法として音や音楽を聴く活動、身体活動、楽器を使った活動、歌・発声の活動を学び、障がいのある子どもとの豊かな音楽体験を積み重ねる手立てを見つける学習に取り組んだ。「身体の動きに合わせた楽器演奏」「子どもたちの声に合わせた音楽」という教師のテクニックの基礎を実際に学び、音楽を使ってのこどもの変容というものを学生どうしても話し合う授業展開を行うことができた。今年も受講学生自身の意志によって本授業で学んだ音楽活動が他の保育科の授業で、あるいは地域のサークル活動で使われ、音楽体験が広まってくれたことは、大変うれしい成果だったと考える。</p> |
|------------------------------|--|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 山路 麻佳 |

1. 基本情報

| 科目名          | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどものうたと伴奏法 I | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 74        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。そのため、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員のもとグループをつくり展開している。グループで偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、一年次に開講している「こどものためのピアノ」での進捗をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、前年度の改善計画として掲げたローテーションの体制をとり、15回の授業のうちグループから1人ずつ科目担当者のレッスンを受けるようにし、そこで中間発表の場を設けることで、学生の課題に対する意識を高めるようにした。また、実習や就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内で相談に乗り、対応していくようにしている。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。 | 全体を通して | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--------|------------|------------|------------|----------|------------|
|  |        | どちらともいえない  |            |            |          | やや達成された    |

  

|   |  |
|---|--|
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な成績の平均値は73.5点であった。(S-5人、A-23人、B-7人、C-5人、D-33人)本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。授業評価では「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が4.1とあることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p> |
|---|--|

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は卒業必修科目であり、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、約8割の学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、2年次での実習経験や就職試験の準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの力を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、より細やかな教員間の情報共有、連携を図っていき、学生が自分なりの目標達成に向けて取り組めるようにしていきたい。</p> <p>また、一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるようローテーションという体制をとって改善していきたい。</p> <p>また、2年次になり、より実践力が求められていく中で、学生の技量に応じて課題内容を検討し、保育現場で対応していく中で必要な力を身につけらるよう教員間での連携、情報共有をはかりながら指導していきたい。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 阿南 寿美子 |

1. 基本情報

| 科目名          | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどもの発達理解とあそび | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 73        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ○          | ○          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は資格取得に必要な科目であることを学生も理解しているため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。受講学生は、1年次の授業及び実習での経験を通して、子どもの発達理解や個別の特性を理解しつつある段階であるが、2年次の実習では実際に子どもに“あそび”を実践するため、授業での体験は保育者としての視点を持ちつつ臨まなければならない。</p> <p>オムニバス科目であり、「あそび」担当教員は、リズム遊び、ルールのある遊び、わらべ歌など、実際に年齢別の子どもの姿を伝えながら、保育者の援助方法、遊びの展開についての教授を行い、実践理論担当教員は、体験した遊びの内容の振り返り、留意点を伝えた上で、実際の実践指導案の作成を指導した。また、0、1、2歳児の発達と遊びについては、学生の理解を深めるために別途講義を行った。そのことにより、学生が自分の体験をもとに子どもであれば、という視点を持ちながら振り返りを行う事ができたと考えられる。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|   |  | やや達成された    |            | やや達成された    | やや達成された  | やや達成された    |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な評価は79.7点(最高点100点、最低点57点、A-7人、B-36人、C-22人、D-7人、E-1人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの得点の平均はAB-79.8点、CD-79.5点であり、両クラスとも同程度の習得度であることがわかる。</p> <p>学生は授業に向けて予習または復習を随時行っており、配布資料を活用するなど、授業が講義時間のみではなく各自の学習につながっていると考えられる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許状(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生はいずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DPに関しても、子ども理解、保育者としての対応など指導案の作成を重ねる毎に深められており、紹介した遊びを基に他の遊びに興味を持ち調べたり、体験した遊びを対象の年齢に合わせて変化させたり、紹介された教材を作成するなど意欲も高くなっていた。</p> <p>また、随時ある実習においても本講座で作成した資料等を活かすなど、授業と実践が密接に関連していることがうかがえる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>本科目は、本学独自の科目として「保育の対象理解」に該当している。授業の質的評価得点の平均は4.0点であった。</p> <p>計画に際しては授業で体験した内容を実習で実践しており、特に6月の実習後は体験を振り返り、実際の子どもの様子を意識しながら立案されていることがうかがえる。しかしながら、計画作成に苦手意識を持つ学生も数名いた。教師からの指導だけでは、なかなか改善が見られなかったため、友達同士による添削・助言を取り入れた。また、クラス毎に作成した指導計画を印刷・配布することで、同じあそびでもさまざまな展開の仕方がある事、自分では気づかなかった留意点や援助方法があることなどを身近な友人の指導計画を観ることによって学ぶことができるように工夫した。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。</p> <p>担当科目教員同士で授業時の様子などの意見交換を行いながら、計画を進めることによって、学生の現状を把握しながら授業を展開できたのではないと思う。</p> <p>昨年度の反省を踏まえ、今年度は各自が作成した指導案をクラス別に配布した。友人の指導計画を確認することは有意義ではあったと思われる。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 東 彩子 |

1. 基本情報

| 科目名      | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| キリスト教学 I | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる聖書理解が目的である。授業では、旧約・新約聖書の基礎を体験的に習得できるよう、毎回の講義で各々が聖書を声に出し輪読をすること、学生による紙芝居や絵本の読み聞かせ、ディスカッションなどを取り入れた。また、毎週のチャペルの参加や、ミッションデーのレポート、ミッションデー後の教会訪問などを評価に取り入れ、授業外でもキリスト教に触れる体験の機会を促した。</p> <p>毎回、授業の最後に記入するポートフォリオにおいて、その回の学びの確認を行っている他、チャペルについてもチャペルポートフォリオを作成し、積極的なチャペル参加と聴いたメッセージをまとめる学びを促した。</p> <p>今後は、さらに建学の精神の土台を日常的に習得していくため、予習・復習の課題を具体的に示していく工夫を行う。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | 達成された  | 達成された      |            |            |          |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.5ポイントであった。事象を理解する視点や考え方取得は4.4ポイント、他の到達度自己評価も概ね平均3.5以上であった。トータル成績の平均値は約75%以上、チャペルの出席率約80%以上、教会訪問の出席率約90%以上とチャペルポートフォリオや教会訪問の感想などから、「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の世界観を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>キリスト教学 I はキリスト教の導入なので、今後、キリスト教学 II の中で、I で学んだ知識をもとに、発展させていくような展開が必要とされる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性<br/>本科目は本学の要となるキリスト教を学ぶ「必修」科目である。しかし、初めから興味を持って受講する学生はわずかであるため、キリスト教に全く興味のない学生も受講しているため、動機付けに工夫が必要であるが、総合的に全体として一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性<br/>「感恩奉仕」の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという行動目標に沿い、学問としての旧約新約聖書の講義とアクティブラーニングの学びの他、チャペル出席、教会出席、等を評価に組み入れ、授業内で学ぶ事の出来ないキリスト教の源泉に触れるなど、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>自由記述の中には、「紙芝居などを使ってわかりやすかった」との回答があり、引き続き慣れない聖書の学びへの導入として、多様な教材に触れながら多角的に捉える視点を大切にしたい。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>「チャペルポートフォリオ」を導入して、チャペルと本講義とのリンクを行なった。100%の提出があり、学生のチャペル参加の意欲など、全体像をつかむことが出来た。本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、わかりやすい説明を心がけており、授業の質評価の平均値は4.3ポイントであった。「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」も4.3ポイントであったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p> | <p>必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の土台を学ぶ科目であるため、学期始めにキリスト教に関心や興味のない学生たちにも主体的に学習してもらうための工夫が必要である。受け身的に知識を得るだけでなく、学生が興味を抱いたテーマについて取り上げてディスカッションを行うことや、絵本・紙芝居の読み聞かせを学生自らが実践することなどを入れ、授業を造り上げる一員としての自覚を養うように促している。</p> <p>授業の最後に記入して振り返りを行うポートフォリオに加え、チャペル出席を促す「チャペルポートフォリオ」を導入し、学生のチャペルへの積極的姿勢を伺う材料とした。これによって、前期のチャペルの学びの全体像が見えるようになった。今後も、さらなるアクティブラーニングを検討し、キリスト教学の学びを多角的に深められるような指導をしていきたいと考えている。</p> |
|-------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 谷崎 太 |

1. 基本情報

| 科目名     | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|---------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 初年次セミナー | 1    | 前期         | 必修      | はい       | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ×        | ○          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>・受講動機は次の通り。①必修科目である98.6%、②資格取得に必要である15.1%、③関心のある内容である6.8%、④単位数を確保する19.2%、⑤教員に勧められた1.4%<br/>・学科における必修科目である。<br/>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。<br/>・シラバスに沿って、主として演習形式で進化した。<br/>・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。<br/>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | 達成された  | 達成された      |            |            |          | 達成された      |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>・前期試験を経ての成績評価は、平均86点/100点であった。再試対象者は0名であった。<br/>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.2で最も高いスコアであった。<br/>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた<br/>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.4で最も低いスコアであった。<br/>(10) 職業選択の参考になった。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>・学科のDPの知識理解(DP1)、態度(DP4)を担う科目として開講している。<br/>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に<br/>お示しください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し<br/>ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、<br/>インターネット利用」学生の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7~4.1であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。</li><li>・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。</li><li>・図書館等の利用は、過半数の学生で利用が見られ、能動的な学びに役だった。さらなる利用の促進を図りたい。</li></ul> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。</li><li>・図書館の利用も含め、予復習、自発的学習を更に促す工夫をする余地があると考ええる。</li></ul> |
|-------------------------------|--|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 篠木 賢一 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 運動と健康 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 78        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要なため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生(前期)であり、今後資格を取得するために、子どもの健康等を守るためにまずは自己の健康・体力について理解することは大切である。また、大学に入学し生活環境の変化等があり、学生自身の生活習慣の見直しや健康管理の重要性を理解してもらうために、学生の興味のあるダイエットや美容に関連する内容を取り入れた。教室での講義だったが、スポーツ科学実技での体力測定結果や、実際に運動を行うことで運動強度を測定・評価したりして理解が深まるように工夫した。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | 達成された  | 達成された      |            |            | 達成された    |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な成績の平均は88.8点(S-43人、A-22人、B-12人、C-1人)である。8割以上の学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成できたと考えている。しかしながら、小テストの得点を見つめると60点を下回る学生も数名いたことから、説明等を丁寧に行い通年で行われているスポーツ実技でも健康等について引き続き指導していく必要があると思われる。また、運動量等の計算では、より丁寧な説明が必要であると感じた。授業評価アンケート「学習量の評価」では授業中にノートを取ったりして理解できたという意見が聞かれた。また、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習」では、教わったトレーニングを実践したという意見も聞かれた。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題はほぼ達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で平均点が4.6点となっており、多くの学生が知識を得たと考えている。また、分かり易い説明で学ぶことが多かったという意見や、今後の生活に活かしたいと思いますという意見も聞かれた。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で講義を行った。また、理解が深まるように座学だけではなく、実際に運動をしながら測定・評価を行えるようにした。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられたため、すべての学生が発言しやすい環境づくりを引き続き検討していきたい。また、図書館やインターネットなどを利用できるような講義内容も検討していく。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p> | <p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この講義は教室で行うため、実際の運動や生活習慣に繋げていけるようにスポーツ実技等の科目でも指導を行う必要があると思われる。また、授業だけではなく、普段の生活や卒業後も学生が得た知識を生かすことができるような授業展開を心掛けていきたい。</p> |
|-------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 江田 康子 |

1. 基本情報

| 科目名    | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 女性とマナー | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 64        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。<br/>                 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」<br/>                 なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、<br/>                 これをどう具体化したかを併せてご記入ください。<br/>                 &lt;授業評価の指標&gt;<br/>                 「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>①「女性とマナー」は保育学科で2年目の授業である。<br/>                 ②2年後に社会人、1年生の後期は実習もあり、社会性を持たせるために必要な知識とマナーを中心に授業を展開。<br/>                 ③昨年度の授業計画の改善点として、高校を出たばかりの学生に社会性を持たせるために、「保育士に必要な7つの意識」と保護者様や子どもたちから好感を持って受け入れられる保育士になるために、人が自分をどのように評価するのか、またどのように自分自身を変化変容させていけばよいのか、アクティブラーニングを新たに授業計画に付け加えた。</p> |
|--|--|

4. 学生の目標達成状況について

|  |   |            |            |            |          |            |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|  | やや達成された   | やや達成された    |            |            | やや達成された  |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。<br/>                 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。<br/>                 &lt;授業評価の指標&gt;<br/>                 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>①学生の目標達成について、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要になる技術を身に付けることができた」「職業倫理や行動規範(守るべきルール等)について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」が平均値より高く、他は0.1ポイント～0.5ポイント低いものもあった。「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」他、保育士としての専門分野とマナーと結び付けて回答するのは難しかったものと思われる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。<br/>                 &lt;授業評価の指標&gt;<br/>                 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①学生評価アンケートから「とてもタメになる授業でした」「基本的マナーでも、自分が出ていないことや知らなかったことがあり、とても参考になり勉強となる良い授業でした」「8回の授業でしたが、丁寧に授業をしてくださり、ありがとうございました。マナーある女性になりたいです」「とても大切な授業でした。教えて頂いた女性のマナーを大切に、歩んでいきたいです。」他多数、学生の評価からして内容的妥当性には問題はないものと考えます。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>①授業の進め方の昨年度の改善点として、席次の決定をした。64名の受講生と昨年同様人数が多く、席次の決定で、私語もなくなり、授業態度が良くなった。<br/>②昨年度はマイクの状態が悪く、後ろの学生に聞き取れないところがあった。今年度は教室の変更(351)機器類が使いやすく、マイクの状態も良く、学生アンケートの担当教員への評価も上昇したものとする。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>①「保育士に必要な7つの意識」社会人としてのルールやモラル。またアクティブラーニング、レポート提出(昨年度のアンケートから「課題がない」)で課題を与え、今年度は前述通り授業計画を改善した。来年度は保育士に向けて内容をさらに向上させたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 末嵩 雅美 |

1. 基本情報

| 科目名      | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 生活の中の環境学 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 7         |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>一般教育科目で選択科目であり、一般教育科目の単位を既に多くの学生が満たしており受講者が少なかったが、意欲ある学生の受講が期待できた。できるだけ興味を持って身近な生活科学に関する内容を取り上げたり、市内在住の外部講師を多く招いて北九州における生活と環境を考えられる内容で授業を組み立てた。学生に対しては、学習の準備として日頃から生活環境に関心を高めておくことや、幼児教育における環境の意義を理解し臨むことを求めた。外部講師による授業が多くあったが、必ず振り返りの授業を行い意識化できるよう授業計画を立てた。</p> <p>開講初年度で実験的な部分も多かったが、授業後は「面白かった」と口にする学生も多く、学生の学習意欲を十分に引き出せたと考える。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|   | 達成された   | 達成された      |            |            |          |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>期末課題としてレポートを課し、授業内の小レポートや授業への参加態度で評価を行った。5限目開講と言う事もあり出席回数が少ない学生はいたが、概ね出席状況も良く、授業への参加意欲も見られ、最終成績の評価の平均値は84.2と高いものとなった。</p> <p>期末レポートで授業のまとめとなる課題を出したが、授業で目指す学習目標やDPが十分に達成されていることが確認できた。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>①CPや他科目との関連について、2年次の一般科目履修と言う事もあり履修者が7名(最終は6名)と少なかった。開講時期もしくは履修時期の検討が必要であると思われる。</p> <p>②DPについては、期末レポートにて確認することができたため内容的妥当性は確保されていると言える。また学生による「到達度自己評価」も4.0～4.3と学修成果を実感できる内容であったことが確認できた。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>「授業の質評価」については全ての項目が4.4であったため、学生の理解は十分に得られる授業の進め方だったと判断できる。但し、予習復習等の時間について十分でないと思われるため、次年度は前後の学習も含めた学習内容を検討したい。</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>選択の一般教育科目のため、一定の受講者数の確保が大きな課題である。受講者数が少ないと、参加学生が主体的に意見を言うことはできるが一方で学生の多様な意見を聴く機会が乏しくなり、議論が十分でないと感じた場面があった。<br/>初年度ということもあり、外部講師に多く担当してもらった。外部講師との連絡調整は大変だったが、学外から来ていただいた方の話は学生が非常に興味深く聞くことができ、できれば次年度も外部講師を招いて授業を進めたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 谷崎 太 |

1. 基本情報

| 科目名    | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 情報処理入門 | 2    | 前期         | 選択      | いいえ      | 18        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>・受講動機は次の通りである。<br/>①必修科目である58.3%、②資格取得に必要である41.7%、③関心のある内容である8.3%、④単位数を確保する41.7%、⑤GPAをあげる8.3%。<br/>・学科における選択科目である。<br/>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。<br/>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。<br/>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。<br/>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|   | 達成された  | 達成された      |            |            | 達成された    |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>・前期試験を経ての成績評価は、平均84.7点/100点であった。再試対象者は0名であった。<br/>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.4で最も高いスコアであった。<br/>(1) 自分なりの目標を達成した<br/>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた<br/>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.3で最も低いスコアであった。<br/>(3) 事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた<br/>(4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた<br/>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた<br/>(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた<br/>(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた<br/>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた<br/>(9) 職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた。<br/>(10) 職業選択の参考になった。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>・学科のDPの知識理解 (DP1)、技能表現 (DP5) の基礎部分を担う科目として開講している。<br/>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.5であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。</li><li>・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。</li><li>・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であるので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。</li></ul> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。</li><li>・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。</li></ul> |
|------------------------------|--|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |             |
|----|-------------|
| 学科 | 保育科         |
| 氏名 | James Hicks |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 英会話入門 | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 50        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>For this course we used the textbook "Four Corners 1" (Cambridge), which guides students through practical exercises aimed at improving spoken English skills. Students engaged in listening practice, dialogue drills, information gap exercises, role plays, reading comprehension, and vocabulary building for the second half of the textbook.</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|   | やや達成された  | やや達成された    |            |            | やや達成された  |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>Students were assessed on 6 criteria (class tasks 15%, active participation 5%, homework 13%, presentations 8%, classwork 24% and a final test 20%). Grades ranged from the 70s to the 90s.</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>Students were very enthusiastic, positive, and willing to learn. This positive outlook contributed to a high level of participation and increased understanding of the material. Opportunities to build skills (DP5) were provided throughout the course with many students taking advantage of the opportunity to learn.</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>Goals for the next term include continuing to improve integration of supplementary materials into the current curriculum and increasing opportunities for kinesthetic learning (space permitting).</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>Streamlining and improving note taking and completion of class preparation exercises will improve the accuracy of individual assessment and keep students focused on class objectives.</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 金 光子 |

1. 基本情報

| 科目名    | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------|------|------------|---------|----------|-----------|
| ハングル入門 | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 42        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。70%ほどの学生が「単位数を確保する」ための受講であったが、単調な語学学習にならないようにできるだけ韓国の「今」に触れるなど、学生が韓国という隣国にもっと目を向け、自発的に韓国語学習に取り組んでくれることを考えて授業を組み立てた。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | やや達成された  | やや達成された    |            |            | やや達成された  |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>定期的に行う小テストで、初回あたりは全員の平均点はあまり高くなかったが、徐々にハングル文字のコツをつかみ出してテスト後半においては皆が高い平均点を出せるようになった。到達度自己評価においては、多くの項目において平均値・中央値が3.5以上であり、教育目標はやや達成されたと思われる。またクラスの半数は予習復習にも取り組んでおり、「自発的学習」項目においては韓流ドラマを字幕のみたり、自主的に韓国語を勉強し始めた、と答えた学生も多く、70%の受講生の動機が「単位のため」としたクラスとしては、韓国語や韓国という国に興味をもってもらえたと思う。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本講義は語学学習を通じて韓国という国・地域に興味をもち、言葉に現れる文化の違いなどを理解し、また実際に韓国語を話すことによって異文化への理解を深めながら学習が可能になったと思うので、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないと思う。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業の進捗は小テストや課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に指導にあたったりもした。最終テストでは全員の平均点が高く語学の基礎的レベルには十分に達したと思う。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p> | <p>本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。</p> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 池田 佐輪子 |

1. 基本情報

| 科目名  | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育者論 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ×        | ○          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得の必修科目でもあり、テキストや参考文献、画像等も活用しながら伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。</li> <li>・これから保育者を目指す1年生前期の段階で、現場をイメージしやすいように保育現場でのエピソードを織り混ぜながら、望ましい保育者として押さえておくべき知識理解・態度について説明することを重視した。</li> <li>・教員と学生と双方向のやり取りができる授業になるように、学生がそれぞれに望ましい保育者像や子どもの姿を箇条書きにしたのちにグループワークでそれぞれの意見を出し合い、それをもとに望ましい保育者の専門性や倫理観について解説を行った。それによって学生の抱いている保育者像を生かしながらさらに望ましい保育者について検討することができたと思う。</li> <li>・昨年度は授業の最後に小テストを行ったが、今年度は定期的に小テストを行い、理解の状態を確認しながら、内容の定着を図った。</li> </ul> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

|  |   |            |            |            |          |            |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。 | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|  | 達成された   | 達成された      |            |            |          | やや達成された    |
| (2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  | <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>  |            |            |            |          |            |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通しての成績は86.3(±5.4)であった。総合評価としてほとんどの学生がA評価以上の理想レベルに達成できていた。</li> <li>・重要なポイントを押さえながら授業を行ったことで、小テストは平均値が91.4点(±7.0)と好成績で、知識理解は概ね達成されたと思う。ただC評価の得点の学生も数名おり、ばらつきがあった。</li> <li>・態度は、出席状況もおおむね良好で私語もほとんどなかった。時々集中が削がれている場面が見られたが、声をかけることで前向きに授業に臨む態度が感じられた。グループワーク等の発表では事前に課題シートを出していたので、それに従ってそれぞれに意見を述べることもできた。</li> <li>・授業内容に該当するテキストの箇所を知らせていたが、授業アンケートによればテキストを使って予習・復習することができていたといえなかった。小テスト前には授業内容の確認学習ができていた。</li> <li>・授業アンケートの「自由記述」より、現場でのエピソードを織り交ぜた説明が有効で、内容理解が促されたようである。</li> </ul> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は、「専門教育科目」の「教育に関する科目」 「保育の本質・目的に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生はいずれの免許・資格の取得も希望しており、意欲的に授業に臨む姿が見られた。</li> <li>・自由記述では、現場での事例(加工しながら)を用いて解説したことで、「内容を具体的に理解できた」と記述している学生が複数いた。事例を使った説明は有効であったと思われる。</li> <li>・以上より内容的妥当性には問題はないと考えられる。</li> </ul> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に<br/>お示しください。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し<br/>ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、<br/>インターネット利用」学生の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・入学直後のそれぞれの学生がもつ望ましい保育者のイメージを活かしながらも、テキストを用いた解説に加え、他者の意見も取り入れながら、より望ましい保育者像を構築することを目指した。グループワークでは活発に意見を出す学生とそうでない学生とが見られたため、課題シートを使って事前に意見を書いて授業に臨ませ、できるだけ多くの学生が安心して積極的に自分の意見表明ができる授業環境を工夫することができた。しかしまだ「コミュニケーション力や表現力を高める」の項目の評価が不十分なので、引き続き発表場面を増やすなどの工夫をして生きたい。</li><li>・授業内容を記載したテキストの箇所を明確にし、質問内容を工夫して学生が予習・復習の有効性を実感できるように心がけたが、まだ予習・復習が十分とはいえない。主体的な学びを引き出せるように、さらに具体的な内容の提示に留意していきたい。</li><li>・保育現場でのエピソードは、学生の理解を促すために有効と思われるので、守秘義務に配慮しながら継続していく。</li></ul> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・学生の達成度自己評価とトータル成績より、概ね授業の目的は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、学生の主体的な学びを促すような授業を心掛けたい。</li></ul> |
|-------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 末崎 雅美 |

1. 基本情報

| 科目名  | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育原理 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 78        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ○          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。<br/>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。<br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>* 卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。<br/>* 保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても持込を行わないことなど方法に関しても詳しく説明をしている。<br/>* 授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイデアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていたが、部分的な場面に留まり、全体的に意見をまとめるような工夫が必要であると感じている。<br/>* こちらが配布するプリント以外に、自発的にノートをまとめる学生もいた。参考書籍等も適宜紹介を行った。昨年度よりも自発的に課題以外の学習に取り組む学生が大幅に増えた(25%→77%)</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|  |   | やや達成された    | 達成された      |            | やや達成された  |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。<br/><br/>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。<br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終の成績評価の平均値は83.3と非常に高く(昨年度は76.8)、秀及び優は53名(69%)で多くの学生が十分な知識理解を得て授業を終えることができた。予習復習をきちんと行った学生も多く、それが成績評価に繋がったと思われる。<br/>ただし、「授業の課題以外に具体的に取り組んだ内容」として自由記述の答えの多くが「テスト勉強」であった。試験勉強に限らず、保育に関する知識や情報を得ようと深めたりする意欲を引き出す必要があると感じる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。<br/><br/>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>今年度の本科目は、昨年度までは1年生後期に配置していた科目だったが、1年生前期の時期に繰り上げた。時期を早めたにも関わらず、昨年度よりも学生の成績評価が大きく向上している。保育を学び始めて間もない学生たちに対し、基礎となる用語や概念の習得、子ども理解を学ぶ内容であり、カリキュラムツリーの位置づけとして1年前期が十分に妥当であることを示した結果となった。<br/>DP、行動目標における内容的妥当性については、十分に確保されていると思われる。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業の質評価について、昨年度よりも全体的に高い評価を得ることができた。特に、評価基準については学生に明示するように心がけたため4.3と向上し、多くの学生が理解できるものとなり得た。一方で「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」という項目に3名の学生が「少しそうでないと思う」と回答している。こちらから質問をしたり、問い掛けたりしながら授業を進めてきたつもりであったが十分でなかったことがうかがえる。また居眠りをする学生もおり、自由記述欄に「眠たかった」「寝てごめんなさい」という記述も見られ、集中力を持続させる工夫も必要かと考えている。他方「わかりやすい」「例えがあって理解しやすかった」という回答もあり、分かりやすい話し方伝え方を心がけたことへの成果も見られた。</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>原理系科目であり、学生にとっては堅苦しい内容が多く、取り付きにくいイメージもあったのではないかと考える。知識獲得が重点目標だったため、こちらからの説明がどうしても多くなってしまふ。集中力を持続させながら、「授業に参加しながら知識を習得する」方法を導入したい。また、学生が学習の達成感を味わえるよう、その都度学習の積み重ねの振り返りができるよう工夫したいと考える。</p> |
|------------------------------|--|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |      |
|----|------|
| 学科 | 保育科  |
| 氏名 | 笠 修彰 |

1. 基本情報

| 科目名     | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|---------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こども家庭福祉 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ○         | ×         | ○         | ×       | ×         |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目の受講対象は1年生である。卒業必修科目であり、保育士資格取得のための必修科目でもあることから、全ての学生が受講している。本科目は、保育士として必要とされる福祉的視点や援助観を涵養する上で基礎となる科目の一つである。授業では、保育者を目指す学生が本科目を学ぶ意義を丁寧に伝えることを心掛けている。また、今年度も学生の予習、復習への意識を高めること、学習状況を確認することをねらいとして、小テストを実施した。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|---|---|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|   |   | やや達成された   | やや達成された   |           | やや達成された |           |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な評価としてS-31名、A-23名、B-13名、C-10名、D-0名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約70%であることから、目標はやや達成されたと考えられる。また再試対象者は0名であった。他方、学生による授業評価の結果をみると、「学習達成度の自己評価」では、すべての項目において97%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価がなされており、意欲関心を示す項目でも同様に98%以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上の回答をしている。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目である。保育士資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DP1に関して、「学習達成度の自己評価」における知識理解、意欲関心を示す項目で、約99%の学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。他方、コミュニケーション能力に関する項目においてわずかながら否定的な意見がみられるが、本科目が講義科目という性質上の課題であると考えられる。以上のことから、内容的妥当性は確保できていると考える。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業では、可能な限り学生が発言できる機会を設けることで、学生が主体的に考え取り組むことができるよう配慮している。また、単元ごとに作成、配布した予習プリントを基に学籍番号順での質問やクイズ形式での質問等を行い、すべての学生が発言できるよう工夫している。</p> <p>今年度についても、学修準備性を高めることを目的として、小テストの実施、予習プリントの配布を行った。「授業の質の評価」では、全ての項目の平均値が4.2～4.4であり、このような取り組みが学生からの一定の評価を得る結果につながっているのではないかと考える。また、学生の意見として、授業内容に関する肯定的意見がある一方で、「余談が多い」といった意見がみられた。「福祉＝生活支援」への理解促進を目的として、意図的に「生活」に関する多角的なアプローチを試みたつもりであったが、その意図が十分に伝わっていなかった結果であろう。今後は、話の論点、意図をより明確化し、学生との共有に努めていきたい。</p> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。</p> <p>今年度は昨年度に比べ、「達成度自己評価」「授業の質評価」における平均値の上昇がみられた。これは、一昨年度から導入した小テストの実施や不特定多数の学生が発言できる場の提供等の授業改善に向けた継続的な取り組みの結果ではないかと考える。また、学修準備性を高めるための取り組みについては、徐々にではあるが結果に結びついてきているように思われる。着実な向上を目指し、今後もさらなる改善に努めていきたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 阿南 寿美子 |

1. 基本情報

| 科目名    | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|--------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育の心理学 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ○          | ×          | ×        | ×          |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、資格取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかを希望する学生は全員受講している。しかしながら受講動機において資格取得に必要であると認識している学生は半数である。現在、授業初回にカリキュラムマップを用いて説明しているが、より丁寧に伝えることが必要であると思われる。受講学生は乳幼児についての基礎的知識や体験が少なく対象に対するイメージが難しいのではないかと考え、スライドには写真を用い視覚的に理解を促す、幼少期に関して自身の記憶を想起できるような働きかけを行う、他科目ではあるが見学実習や遊び体験を振り返ってイメージする機会を持つなど配慮した。配布資料はスクリーン用とは別に内容を集約し、適宜書き取りを行う事によって授業に集中できるようにしている。</p> <p>講義を進めるにあたっては、なるべく教師からの一方的な教授になることの無いよう、事例や学生同士のディスカッションを取り入れるように心がけた。また、講義を主体的に受講することを意識づけるために、評価に授業ノートの提出を取り入れている。これにより、講義であっても重要箇所を聴き取る力を身につけられるよう意識している。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | 達成された   | やや達成された    | 達成された      |            |          |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な評価は84.9点(最高点98点、最低点67点、A-22人、B-41人、C-13人、D-1人)である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はAB-84.9点、CD-84.8点であった。A,B,C,D評価の内訳もほぼ変わらない。つまり、両クラスも偏ることなくほぼ同じくらいの理解度であるといえる。評価の観点については、従来と同様であるが、今年度は平均点、評価区分ともに例年よりも高かった。また、「到達度自己評価」、「授業の質評価」では全員が「まあまあそうだと思う」以上も評価をしており、全体を通して目的は達成されたのではないかと考えられる。しかしながら、評価は授業の総合評価であるため、回答内容について、理解してほしい箇所を間違えている学生も見受けられる。今後の授業の中で振り返りを行うなど、理解を深められるようにしたい。</p> <p>定期試験においては、学生が授業を全体的に振り返ることができるように持込レポートを取り入れている。これに関しては、大体の学生がしっかりと授業内容で重要と認識している箇所をまとめている。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |   |
|--|---|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、卒業必修科目であると同時に、「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置付けられており、幼稚園教諭免許所(必修)、保育士資格(必修)の科目である。受講生は、いずれかの免許・資格を取得する目的を持っているため、比較的受講の意欲は高い。</p> <p>DPに関しては、試験解答状況を見てほとんどの学生において現段階での課題は達成できていると考えられる。</p> <p>以上の事より、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p> |
|--|---|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>授業時の発言は学生にとって勇気が必要であり、発言する学生としない学生に偏りが見られる。そのため、発言を促す際は、少人数でディスカッションする機会を設ける、発言は否定せずに受け止めるなど発言しやすい雰囲気を作る事によって、発言することへのハードルを下げ、意欲が高められるように配慮した。授業時は配布資料に加え、口頭説明もかなりの分量になるが、学生には内容を要約してまとめるといったスキルを身につけていただきたいと考えている。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>全体的には学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。本科目は、学生たちの子ども観や保育観の基本となる内容を取り扱っていると考えられるため、次回は授業理解度を途中で確認できるような機会を設けるなど、学習内容を深化させられるような取り組みをしていきたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 村上 里絵 |

1. 基本情報

| 科目名    | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|--------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育内容総論 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>①受講動機は、「必須科目である。」が98.6%で最も高い。一方「資格取得に必要である。」が35.1%で、資格取得で必須であることが理解されていない現状もうかがえる。しかし、取得した資格で働く意欲がある学生が、実際に保育現場にて乳幼児を目の前にして「保育」を実践できるように基礎を学んで欲しいと願って授業を進めてきた。②関心である内容となるよう、保育現場でのエピソードやこどもの日々の姿、保育者の関わりのポイントなどをより具体的に授業に盛り込むようにした。その成果か、学生の評価では、「事例はどれもこれも面白かった。」「沢山の経験談が聞けてよかったです。」「事例がためになった。」などとあり、実際の話が心に残り、子どものこと、保育についてを「より知りたい。」「学びたい。」と思える入口になっていることを期待したい。③また、2018年度に改訂した「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園要領」についても、改訂のポイントを伝える準備をし、何を大切に今保育をしなければならないかを説明した。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|   |  | やや達成された    | 達成された      |            |          | やや達成された    |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>①試験成績に関しては、ABクラスには満点が12名おり、クラスの平均点が93.9点であった。CDクラスには満点は6名であるが、平均点は94.3点とABよりも微妙に高かった。つまり、全体的にABクラスよりもCDクラスの方が点数の高い学生が多かったことがわかった。授業貢献度合いに関してもCDの方が高いと思われる。②学生評価から、「説明はわかりやすいものであった。」は4.4であったが、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた。」が4.1と低くなっている。次年度からは、より学生同士で話し合う、意見をまとめる、発表するなどの学習機会を作るようにしたい。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は、「専門教育科目」における「保育内容総論・方法に関する科目」に位置づけられており、保育士資格、幼稚園教諭免許取得の必須科目である。受講生は、いずれも免許・資格を取得するために、意欲をもって受講していると思いたい。その受講動機が継続するようにしていきたい。保育現場での子どもの姿や保育者の援助、関わり、環境構成の重要性などを具体的な事例を入れたり、子どもの背景にある家庭状況や社会的状況、保育者の社会的役割や研究的視野の必要性に加えて、保育所保育指針、幼稚園教育要領の改訂点についての説明も交えた。その為、「事例はどれも面白かった。」「(保育理論の)たとえ話が面白かった。」などの意見が寄せられていると思われる。来年度は、話し合う、意見をまとめる、発表するなどの学生自身が主体的になれる内容も含めていきたい。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>①これまでの自己評価で、学生自身の予習、復習の時間がなかなか充実しないことが、明らかになっていたため、必ず次回の範囲を読んでくるように指示を出すようにした。事前に読んでくることで、より理解が深まっていることがうかがえた。②更に図書館利用を促せるような取り組みも考えていきたい。</p> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>社会人として、保育者としての「職業倫理や行動規範」、「子どもにとってのモデルとなる意識」や「職業選択の参考」についても学んでいけるような内容の工夫を重ねたい。また主体的に学びたい、自己学習に臨もうとする行動へ向かうような課題提示や授業工夫に一層の努力をしていきたい。</p> |
|------------------------------|--|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 藤田 稔子 |

1. 基本情報

| 科目名      | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 保育内容「健康」 | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>入学後、まだ子どもの姿が鮮明ではない段階の授業ですが、今回は、初回授業から目的意識を高く持ち、本科目がどのような内容であるかシラバスを事前に読んで臨んだ学生が多く、この授業に向かう姿勢は近年見られない程の好ましい受講態度でした。授業評価においても、5.情報利用の項目では、「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」という設問に対して、77名中60名が「参考にした」と回答しています。予習もしっかりとされており、授業中に多くの質問を受けることが出来ました。学生さんからの質問によって、授業の内容が深まり、とても良い効果をもたらしたと思います。アンケート結果で、「シラバスの活用」が確実にできると授業に反映されることがより立証されたように感じました。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|  |   | 達成された      | 達成された      |            |          | 達成された      |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は演習科目であるため、DP1知識理解は、小テストで、DP5技能表現は課題や実際の活動、その振り返りで評価をしていきました。その結果、今年度は、最終成績評価が非常に良好で、秀20名(26%)、優57名(74%)で、良以下がいませんでした。学生さん達の自己評価、授業アンケートの「達成度自己評価」は、平均値4.2～4.6と驚くほどどの項目も高値であり、一番高値であった項目は、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」というDP1に該当するものであり、平均値は4.6でした。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>上記記載内容と同様ですが、授業評価アンケート「達成度自己評価」の結果をみると、本科目が設定しているDPの項目が高値である項目と合致しており、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容は、妥当であると評価しています。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>毎年、内容的にはそれほど変わらないと思うのですが、今期は、関心を高く持って授業に臨んでもらえました。授業中も誰一人ボーとしていることはなく、口頭で語る実際に臨床で見てきた子どもの姿やエピソードを語ると真剣にメモを取ってくれました。授業評価アンケートの結果にもそのことがあらわれており、授業の記録を「記録しなかった」と回答した学生さんは、ゼロでした。また、こちらからはノートを作ってください、とも、図書館やネットで調べてください、とも言ったことはこの科目では皆無ですが、アンケート結果を見ると、自主的にこなされていたことが分かりました。学生さん達の学習意欲を高めた原因をしっかりと分析し、今後活かしていきたいと思っています。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>今期は、学生さん達の受講態度が非常に良好で、特に、予習をしっかりと来てくれたおかげで、授業中の質問が多かったことが印象的です。このことが、理解を深める原動力になったのではないかと推察しています。私が求めている以上の学修をしてくださいました。授業改善をしたからというわけではなく、学生さんの素質がこのような結果を生んだと思っています。どの学年も学生さんも同様の学びが得られるよう、授業の質を保持していきたいと思っています。</p> |
|------------------------------|---|



リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 山路 麻佳 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| 音楽の基礎 | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ○          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。保育者に必要な音楽の知識を習得する講義と、基本的な発声を身につけるための歌の演習を90分の中で行っている。講義では、教科書の他にプリントを用いることで適宜書き取りをすることで、教師からの一方的な教授にならないよう配慮した。また、これまでの音楽経験から既に音楽の知識をもっている学生と、これから初めて学ぶ学生とが混在しているため、単元ごとに小テストを行うことでそれぞれの学習状況を把握するとともに復習への意識を高めた。小テストでは、次回講義の際に返却し、質問を受け付ける時間を設けることで、理解を深められるようにしている。また習得した知識を実践に活かしていけるよう、学習内容をもとに伴奏をつくり演奏していく等、演習を取り入れながら学んでいけるよう配慮した。歌の演習では、現場に出て必要な歌唱力の基礎を身につけることのできるよう教科書を用いる他に、幼児唱歌を取り入れることで、単なる発声練習とにならないよう歌詞からイメージを膨らませ表現の工夫をし保育の現場で活かせるようにしている。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。  | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|---|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|   |   | やや達成された    | やや達成された    |            |          | やや達成された    |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な評価は平均83点である。(最高91点、最低38点、S-12人、A-47人、B-14人、C-3人、D-1人)である。昨年と比較すると最高点・最低点に低下がみられるものの平均点は昨年と変わらず、C評価が減りA評価が多くなっていることから、昨年に比べ学生の理解は深まっているのではないかと推測される。授業評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が最も高い平均点となっており、「自分の学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分の学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が続いており、本科目の教育目標がやや達成されたと考えられる。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しても、「到達度自己評価」の「知識理解」、「技能表現」の両方において、86%学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、最終的な評価からもほとんどの学生が現段階での課題は達成できていると考える。以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |   |
|--|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>「授業の質評価」では平均値4.3であったが、「学習量の評価(4)授業の課題以外に学習に取り組んでいない」が前回とほぼ変わらず38名と半数以上いた。しかし、その理由として自由記述では11名中「特にすることがなかった」といった意見は1名と減少しており、「時間がなかった」という回答が8名であった。同じ項目で「取り組んだ」と回答した26名の自由記述では、「テスト勉強」や「予習・復習をした」という回答のほか、「ピアノを弾くと同時に確認をした」「コードを見ながら歌にあてはめてみた」といった記述がみられ、学生が授業内容を復習だけでなく習得した内容を実践で活かしているのがみられる。</p> |
|--|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の目標達成状況や評価状況から、概ね授業の目標は達成されたと考える。これまでの音楽経験から音楽的知識が全くない学生もよりスムーズに理解を深めるだけでなく、実践に活かしていくことができるよう授業展開を図っていきたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 山路 麻佳 |

1. 基本情報

| 科目名         | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-------------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどものためのピアノⅠ | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|      | ×         | ×         | ×         | ○       | ×         |

3. 授業準備について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。本科目では個々のレベルに応じて、ピアノの技術を習得していくため、個人レッスンで進めていく科目である。そのため、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員のもとグループをつくり進めている。グループで偏りがでないよう、入学前に学生のこれまで音楽経験をアンケートをとり、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。また、前年度の改善計画として掲げたローテーションの体制をとり、15回の授業のうちグループから1人ずつ科目担当者のレッスンを受けるようにし、そこで中間発表の場を設けることで、学生の課題に対する意識を高めるようにした。また、保育で必要となる弾き歌いの力を習得する前段階として、本科目ではピアノの基礎力を身につける教材を使用している。</p> |
|---|--|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解(DP1) | 思考判断(DP2) | 意欲関心(DP3) | 態度(DP4) | 技能表現(DP5) |
|--|--|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|
|  |  | どちらともいえない |           |           |         | どちらともいえない |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な成績の平均値は69.5点(S-8人、A-20人、B-7人、C-0人、D-42人)であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。しかし、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は3.7であったのに対し、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4であったことから、目標達成にばらつきはあるものの、保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで取り組んでいると考える。</p> |           |           |           |         |           |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPIに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、ほとんどの学生が「わりにそうだと思う」以上を回答している。保育者として求められるピアノの力を身につけるために、本科目ではまず基礎を身につけることに重点をおいた内容を課題としているが、授業の課題以外に取り組んだ学習として「保育に関する曲に取り組む」と記述がある等、授業で基本的な技術を身につけていながら、保育の内容に結び付け意欲的に取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|  |  |
|--|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、より細やかな教員間の情報共有、連携を図っていき、学生が自分なりの目標達成に向けて取り組めるようにしていきたい。</p> <p>また、一対一の個人レッスンという体制により、学生が担当教員に相談しやすく個々の状況に応じて課題を進められる反面、学生によっては直接発言しづらい環境でもあるため、教員間の情報共有・連携だけでなく、科目責任者の教員が全学生の進捗を把握し、学生とコミュニケーションをとれるようローテーションという体制をとって改善していきたい。</p> |
|--|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題を改善していきながら、後期の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |       |
|----|-------|
| 学科 | 保育科   |
| 氏名 | 篠木 賢一 |

1. 基本情報

| 科目名       | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断的科目か | 登録された受講者数 |
|-----------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こどもの運動あそび | 1    | 前期         | 選択      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ×          | ×          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学生は1年生(前期)であり、子どもの運動あそびやその果たしている役割などは理解していない。今後資格を取得するために、子どもの発達や運動あそびの果たしている役割を理解することは大切であり、安全管理等の知識を得るためには重要な科目であると認識している。授業を進めるにあたっては、学生が子どもの運動あそびを実際に行いながら子どもの発達や運動あそびの発展等を理解できるように、ディスカッションや過去の経験を振り返ることができるような内容を取り入れた。また、今後の実習に生かせるように、授業後に内容をノートにまとめるように指導を行った。運動あそびではあるが、子どもの発達や運動あそびの理解が深まるように資料配布を行った。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して   | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|--|------------|------------|------------|----------|------------|
|  | 達成された  |            |            |            | 達成された    |            |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>最終的な成績の平均は94.1点(S-68人、A-6人、B-3人、)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、理想的なレベルの見本が示せたり運動あそびの補助ができるようになっていたが、BまたはCの学生は、授業中に達成することができなかったため、授業外等で引き続き個別の指導を行っていく必要があると思われる。授業評価アンケート「学習量の評価」では、苦手なことをできるように練習したという意見や、運動あそびの種類や内容をノートにまとめるという意見が見られた。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、幼稚園教諭免許(選択必修)、保育士資格(選択必修)の科目である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。授業評価アンケートでは、子どもの遊びについて楽しく学べたという意見や、将来役に立つ知識と技術を身に付けることができたという意見が見られた。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |  |
|---|--|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <p>体育館という環境のため、学生が説明を聞き取りやすいように注目を集めたり、聞き取りやすい環境づくりに努めた。また、教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りが見られるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。授業評価アンケートでは、運動あそびの種類を調べノートのとまとめたという意見が見られた。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習では、鉄棒やマット運動の練習を行っている学生が多かったが、図書館やインターネットを利用した学生がほほいなかった。遊びの種類や安全管理等を調べるような課題を設定し、利用を促したい。</p> |
|---|--|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p> | <p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。この授業では学生のみで運動あそびを行うため、実際の子ども姿と重なることが少ない。今後の実習等で経験や知識が生かされるように、他の授業と繋げて考えられるような授業展開をできるように検討していく。また、授業後に内容をノートにまとめるようにしているが、授業中の休憩時間にメモを取れるように改善を行いたい。</p> |
|------------------------------|---|

リフレクションカード 2019年度前期

|    |        |
|----|--------|
| 学科 | 保育科    |
| 氏名 | 池田 佐輪子 |

1. 基本情報

| 科目名   | 配当学年 | 前期・後期・通年の別 | 必修・選択の別 | 学科横断の科目か | 登録された受講者数 |
|-------|------|------------|---------|----------|-----------|
| こども文化 | 1    | 前期         | 必修      | いいえ      | 77        |

2. 観点・DP上の位置

| 該当に○ | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|------|------------|------------|------------|----------|------------|
|      | ×          | ×          | ○          | ○        | ×          |

3. 授業準備について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、自由記述の意見など</p> | <p>・本科目は資格取得に必要な科目で、学生は保育現場での「あそび」の実践につながることを理解して受講していた。それぞれ主体性や独自性を発揮しながら授業に臨んでいた。</p> <p>・こども文化財が幼い子どもの発達に与える影響を理解したうえで、子どもの発達を促しながら「あそび」を楽しむことができる文化財を作成するとともに、それをを用いて保育現場で実践できるように留意しながら授業を行った。</p> |
|---|---|

4. 学生の目標達成状況について

| (1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。   | 全体を通して  | 知識理解 (DP1) | 思考判断 (DP2) | 意欲関心 (DP3) | 態度 (DP4) | 技能表現 (DP5) |
|--|---|------------|------------|------------|----------|------------|
|  |   | 達成された      |            |            | 達成された    | やや達成された    |
| <p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> | <p>・様々なこども文化財が子どもに与える影響について解説し、現場で活かせる文化財の作成を促したことで、ほとんどの学生はその意図を理解したうえで自分なりの作品を作るとともに、他者の前で発表することができていた。</p> <p>・トータルの成績評価は、93.9点(±3.7)。クラスごとではAクラス94.4点(±3.2)、Bクラス93.1点(±4.4)、Cクラス93.2点(±3.9)、Dクラス94.8点(±3.1)でクラスごとのばらつきはほとんど見られなかった。</p> <p>・特に「認定絵本土」の取得を目指す学生は、絵本等に関する内容について積極的に学ぼうとする態度が見られた。</p> <p>・作品の提出期限の遅れや内容に不備のある学生が数名おり、指導を行った。</p> <p>・こども文化財の作成に当たっては、過去の学生の作品を参考にしたり、図書館やインターネット等で資料を探したりして、主体的に作成することができていた。</p> <p>・できた作品は自主実習に持参したり、オープンキャンパスで展示したりして、子どもや高校生からも好評を得たことで、自信をつけたようである。</p> <p>・その半面、制作や人前で発表することが苦手な学生にとっては、作品発表の演習に抵抗があるようだった。</p> |            |            |            |          |            |

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

|  |  |
|--|--|
| <p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p> | <p>・本科目は「専門教育科目」の「保育内容の理解と方法」の科目に位置付けられており、必修の科目である。受講生のほとんどは保育現場に就職することを目指しており、概ね主体的、意欲的に授業参加ができていた。</p> <p>・DP1に関しても、こども文化財の意義を理解したうえで、子どもの年齢や季節、行事などに配慮しながら意欲的に制作、そして発表を心掛けており、他者の作品や発表の様子を見てさらに工夫をしながら学びを深める学生が多かった。</p> <p>・以上のことより、内容的妥当性には問題がないと思われる。</p> |
|--|--|

6. 授業の進め方とその向上について

|   |   |
|---|---|
| <p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。<br/>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;<br/>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・課題の作成や作品の発表が苦手な学生が数名いた。モチベーションを担保しながら子ども文化財の作成、発表を行うために、参考になる作品の紹介や教員によるデモンストレーションなどを適宜取り入れていく。</li><li>・また、実物の紹介だけでなく、図書館やインターネット等を利用する方法も、必要に応じて具体的に提示していく。</li><li>・在籍クラス単独での授業を活かし、人前での発表に慣れるように、無理のない範囲で発表の機会を増やしていく。</li></ul> |
|---|---|

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・一部に課題の作成や人前での発表が苦手な学生が見られたが、ほとんどの学生は実習や現場で活かせる子ども文化財を作成し、授業の中で設定保育形式で発表することで、準備を整えて実習に臨む態勢を作ることができたと考えられることから、概ね授業の目的は達成できたと思われる。</li><li>・次年度には、さらに子どもの年齢や季節、行事などを考慮した課題の提示や設定保育形式での発表を、授業の中で工夫していく。</li><li>・また作成や発表が苦手な学生には、自分から主体的に作成に取り組む意欲を育てるように留意しながら、ある程度の具体例を示すなど細やかな支援も心掛けたと考えている。</li><li>・他の演習科目での制作課題と内容が重複しないように情報共有しながら、課題を提示していく。</li></ul> |
|-------------------------------|---|